

地域文化事業

目的

市町村や芸術文化団体が、芸術文化に関する行事全般にわたり、創造性や独自性あふれる文化事業を発表するとともに、参加者相互の交流を深める場として開催している。

運営

地域文化事業では、実施する主体ごとに「市町村事業」「文化団体事業」に区分し、それぞれが開催のために必要な企画、運営を行っている。県実行委員会は、埼玉県芸術文化祭の総合ポスター、各事業を掲載した総合リーフレットの作成や記者発表など、主に広報面での支援を行っている。

実施事業

	実施市町	事業	実施日程
1	越谷市	第33回こしがや薪能	9月9日
2	川越市	第70回記念川越市美術展覧会	9月27日～10月1日 10月4日～8日
3	ときがわ町	第31回ときがわもみじ太鼓まつり	10月15日
4	坂戸市	第20回坂戸市芸術文化祭	10月15日、11月17日～19日、12月9日
5	吉見町	フレサよしみアートフェスタ	10月20日～11月19日
6	越谷市	第20回こしがや能楽の会	10月22日
7	鴻巣市	令和5年度市民文化祭	10月27日～11月19日
8	朝霞市	第62回朝霞市文化祭	10月28日～11月26日
9	滑川町	第45回滑川町文化祭	11月1日～3日
10	富士見市	第60回富士見市民文化祭	11月3日～19日
11	吉川市	第28回吉川市民文化祭	11月4日～5日
12	久喜市	「音楽の街・久喜市」吹奏楽フェスティバル	11月12日
13	日高市	第33回日高市美術展	11月15日～19日
14	行田市	第75回行田市文化祭	11月16日～19日
15	小鹿野町	第51回小鹿野町歌舞伎・郷土芸能祭	11月18日～19日
16	美里町	第28回美里町遺跡の森ピアノコンクール	11月18日～19日、23日
17	熊谷市	第16回地域伝統芸能今昔物語	11月23日
18	越谷市	第54回越谷市民文化祭	11月23日～26日
19	三芳町	第20回竹間沢車人形公演	12月3日

<文化団体事業>

	実施団体	事業	実施日程
1	一般社団法人旺玄会 埼玉支部	第32回旺玄会埼玉支部展	8月1日～6日
2	埼玉県書道芸術連盟	第28回埼玉県書道芸術展	8月3日～6日
3	墨晨書道会	第45回墨晨書展“墨の祭り”	8月25日～28日

	実施団体	事業	実施日程
4	蘭生書道会	第54回交通安全祈願蘭生書道展	8月26日～27日
5	一般社団法人 新構造社埼玉支部	第61回公募新構造埼玉展	8月29日～9月3日
6	全国平成水墨画協会	第32回全国平成水墨画展	9月7日～11日
7	先駆ける美術の会	第21回先駆ける美術展	9月12日～17日
8	埼玉県書道人連盟	第66回埼玉書道展	9月15日～17日
9	埼玉県三曲協会	第31回埼玉県三曲協会定期演奏会	9月17日
10	八潮市民オリジナル ミュージカル	八潮市民オリジナルミュージカル第15回 本公演「キャズの涙」	9月18日
11	熊谷短歌会 埼玉県歌人会	埼玉県歌人会第128回秋季短歌大会 熊谷短歌会第31回熊谷市民短歌大会 合同短歌会	9月19日～24日
12	埼玉県かるた協会	第30回埼玉県百人一首大会	9月23日
13	飯能市写真連盟	第52回飯能市写真連盟展	9月26日～10月1日
14	特定非営利活動法人 共同生活推進協議会	とめきち芸術祭 ベビーカーコンサート	9月28日
15	秩父民謡団体連合会	第23回ちちぶ民謡・民舞の祭典	9月30日
16	第一美術協会埼玉支部	公募第55回第一美術協会埼玉支部展	10月3日～8日
17	書道研究 書元会	第54回 書元会 書作展	10月7日～9日
18	川越市三曲会	第39回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい	10月8日
19	埼玉県連句協会	第33回さきたま連句大会実作会	10月8日
20	特定非営利活動法人 入間市文化創造 ネットワーク	アミーゴ秋まつりvol.16 いるまクラフトフェア	10月8日～9日
21	秩父写友会	第76回秩父写友会写真展	10月12日～16日
22	折り紙夢工房	折り紙夢工房作品展	10月18日～19日
23	おけがわ市民芸術文化祭 実行委員会	おけがわ市民芸術文化祭2023	10月19日～29日
24	埼玉県茶道協会	秋の茶会	10月22日
25	特定非営利活動法人 子ども劇場おやこ劇場 埼玉センター	第17回こどもライブフェスタ2023	10月22日～12月9日
26	太平洋美術会埼玉支部	第44回太平洋埼玉展	10月24日～29日
27	津軽三味線貢治会	津軽三味線コンサート みんようまつり2023	10月29日
28	上尾市文化団体連合会	第39回上尾市文化芸術祭	11月3日～5日
29	書道研究 幸墨会	第7回幸墨会一門展	11月4日～6日
30	熊谷ひばりピアノコンクール 実行委員会	第15回熊谷ひばりピアノコンクール	11月19日
31	埼玉県太鼓連盟	第11回彩の国埼玉 ジュニア桴の祭典	11月19日
32	埼玉県西部地区合唱連盟	第48回埼玉県西部地区合唱祭	11月23日
33	彩西美術会	彩西美術展'23	11月28日～12月3日
34	全日本書道芸術院	第57回全日本書道芸術展	12月5日～10日
35	サンシティ市民合唱団	第35回サンシティ市民合唱団定期演奏会	12月10日
36	一般社団法人 埼玉県校外教育協会	第58回「郷土を描く児童生徒美術展」	12月23日～24日

市町村事業

第33回こしがや薪能

越谷市 越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂

9月9日(土) 17:20~20:00

当日の状況

こしがや薪能は、越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂にて夜間に開催しており、今年度で33回目を迎えた。

全国でも数少ない屋外能舞台で舞う姿が篝火に照らし出され、来場者は幻想的な雰囲気の中、幽玄の美を堪能されているようだった。

開演前に行った、観世流能楽師の清水義也師による能楽講座では、能楽で使用する道具や能舞台の説明、番組の解説をすることにより、能楽の世界を身近に楽しんでもらうことができた。また、近年はコロナ対策として主催者と来賓者のみで行っていた火入れの儀についても、来場者から2名にご参加いただき、篝火の点火にご協力いただいた。

今年度は開場直前まで天気が不安定であったが、公演中は晴れ、夏場にしては過ごしやすい気温の中、虫の声や篝火の爆ぜる音がより夜遊の優雅さを演出し、見ごたえのある能公演となった。

成 果

今年度は台風の影響が心配され前売券や当日券の販売が伸びず、また公演当日も開場前は天候が不安定であったが、公演の時間帯は晴れ、予定通り市民に優れた能公演を鑑賞する機会を提供できた。

来場者のアンケート結果によると、満足度は「大変満足」又は「満足」との回答が9割以上を占めている他、「また見たい」との回答も9割以上となっており、来場者にとっても満足度の高い事業であることが確認できた。

主 催

越谷市 越谷市教育委員会
公益財団法人越谷市施設管理公社
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第70回記念川越市美術展覧会

川越市 川越市立美術館 第Ⅰ・Ⅱ期とも9:00~17:00(最終日は15:00まで)
第Ⅰ期 9月27日(水)~10月1日(日) 第Ⅱ期 10月4日(水)~10月8日(日)

当日の状況

新型コロナウイルス感染症の影響も緩和傾向にあるとはいえたが、余波が継続している状況下での開催となった。総出品点数は492点と昨年度から減少したものの、今回も感染者等の報告や大きな混乱も無く終了することができた。また、昨年度以上に出品者、来場者及び運営役員間で、地域や世代を超えた交流が活発化していた。

成 果

本展覧会は、市民参加の公募美術展として市と川越美術協会との共催により昭和27年から現在に至るまで継続されてきた文化事業である。今回で第70回目の節目を迎えることから「第70回記念展」と銘打って開催した。

事業開催に向けて関係団体と協議を重ね、実施方法の見直しを行う等前回開催時の反省点・改善点を活かし、運営の能率化が果たされた。

来場者アンケートでは、「見ごたえがあり楽しめた」という声をはじめ、他部門に関心を持つ出品者や、美術を嗜む地域住民の多さに感心する一般来場者からの感想も見受けられ、改めて本事業の美術振興への貢献度の高さを実感した。

今回展も前回に引き続きコロナ禍の影響が残ったが、新規出品者の獲得や運営方法の改善等、本事業の今後の発展に繋がる実績を得ることができた。

主 催

川越市 川越市教育委員会
埼玉県芸術文化祭川越市実行委員会
川越美術協会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第31回ときがわもみじ太鼓まつり

ときがわ町 ときがわ町玉川トレーニングセンター
10月15日(日) 11:00~14:00

当日の状況

新型コロナウイルス感染症の影響による2年間の中止を経て、昨年、感染対策を講じながら開催した。今年は座席数の制限を撤廃し、ときがわ町商工会による飲食物の出店を会場周辺で行うなど、コロナ禍前と同内容での盛大な開催となった。

当日はあいにくの雨天だったにも関わらず、会場は町内外から訪れた多くの来場者でにぎわった。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会員数の減少や練習時間にも制約があった中、出演団体による情熱のこもった迫力ある演奏は会場内に響き渡り、子どもから大人まで太鼓の音色を全身で感じ楽しむことができた。出演した7団体による力強く息の合った素晴らしい演奏に、大勢の観客から歓声と惜しみない拍手が送られた。

成 果

本事業は第31回を迎える地域に定着しており、出演団体の演奏技術も年々レベルが上がっている。出演者は子どもや若者を中心に幅広い年齢層で構成されており、芸能文化の次世代育成と振興に寄与することができた。

アンケートでは「会場が体育館なので、他市町の文化会館などで聞く太鼓と比べ、出演者との距離が近く迫力が違って面白い」「若い演者が多く活気を感じた」「発表の場があるということは大切、伝統芸能の継承にも役立つと思う」などの感想が寄せられた。

主 催

ときがわ町 ときがわ町教育委員会
埼玉県芸術文化祭ときがわ町実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第20回坂戸市芸術文化祭

坂戸市 坂戸市文化会館、坂戸市入西地域交流センター
10月15日(日)、11月17日(金)～19日(日)、12月9日(土)

開催日	時間	演目	会場
10月15日(日)	12:00～15:40	箏曲、尺八の演奏	坂戸市入西地域交流センター
11月17日(金) ～19日(日) (最終日は16:00まで)	10:00～17:00	作品展示(絵画・工芸・花・書・写真) 特別展示「坂戸文化かるためぐり」	坂戸市文化会館
11月18日(土)	13:00～16:15	民謡(唄と舞)	坂戸市文化会館
11月19日(日)	13:00～16:15	朗読、合唱、バンド、太鼓演奏	坂戸市文化会館
11月19日(日)	9:30～13:10	呈茶席	坂戸市文化会館
12月9日(土)	13:30～15:40	バンド・ハープの演奏	坂戸市入西地域交流センター

当日の状況

会期内事業では、絵画・工芸・花・書・写真の作品展示のほか、民謡や朗読・合唱・バンド・太鼓の舞台発表、呈茶席、坂戸のかるたに関する特別展示を行った。また、会期外事業として箏曲の演奏会やバンド・ハープの演奏会を開催した。会期外事業を含め、坂戸市内及び近隣の市町村等から約2,200人が来場し、多彩なステージや魅力的な芸術作品を鑑賞した。



成 果

作品展示では、絵画・工芸・花・書・写真的5部門で251点の出品があったほか、坂戸のかるたに関する特別展示を実施し、芸術や郷土文化に対する関心を高めることに貢献できた。また、舞台発表等では各団体の特色を生かした発表を行うことで、来場者に癒しを提供するほか、文化的な意識の向上に寄与することができた。アンケートの感想には、「いつまでも続けてください。」「坂戸市民の芸術文化のお祭りという開催趣旨が大変すてきだなと思います。」といった好意的な感想が多く寄せられた。



主 催

坂戸市 坂戸市教育委員会
坂戸市芸術文化祭実行委員会
坂戸市文化団体連合会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



フレサよしみアートフェスタ

吉見町 吉見町民会館（フレサよしみ）
10月20日(金)～11月19日(日)

当日の状況

新型コロナウイルス感染症の影響から2年ぶりに再開した。前回の花と音楽のイベントから、約450作品の草花を展示するフラワー フェスタ（10月24日～11月3日）、日展等に出品された町民の14作品を展示するアートフェスタ（町民アート展）（10月29日～11月11日）、参加者体験型の能イベントとして能フェスタ（11月5日）の3事業を開催した。



成 果

2年間の休止期間を経て再開したこともあり、期間中は町外の方も含め多くの方が来場した。開催にあたり町民が主体的に事業に参加できるよう心掛け、ボランティアによる草花の水やりや能フェスタのサポートなどの協力を得ることができた。



主 催

吉見町 吉見町教育委員会
埼玉県芸術文化祭吉見町実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第20回こしがや能楽の会

越谷市 越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂
10月22日(日) 12:00~16:35

当日の状況

「こしがや能楽の会」は、越谷市内で活動する能楽関係団体を中心に日ごろの稽古の成果を発表する場として開催されており、今年度で20回目を迎えた。

今年度は20回目を記念して、3団体が番組に舞囃子を組み込み、普段はない笛・太鼓・鼓を伴った迫力の舞を披露した。また、昨年度は出演がかなわなかった市外団体の発表もあり、豊富な内容で開催することができた。

当日は天候に恵まれ、10月下旬にしては暖かい中、全国でも数少ない屋外能舞台での発表を、中庭の席で間近に見学する来場者も見受けられた。



成 果

今年は特に天候に恵まれ、500人弱の方々にご来場いただいた。また、これまで新型コロナウイルスの影響で出演がなかった市外団体にもご出演いただき、昨年度に比べ出演者や来場者が増加した。

アンケートでは、「とても楽しかった」「楽しかった」との意見が8割以上、次回も「観覧したい」が9割以上を占めており、来場者の能楽への関心の高さが伺えた。



主 催

越谷市 越谷市教育委員会
第20回こしがや能楽の会実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



令和5年度市民文化祭

鴻巣市 鴻巣市立総合体育館、鴻巣市文化センター、吹上生涯学習センター
10月27日(金)～11月19日(日)

当日の状況

作品展は、前回より少ない来場者数ではあったが、秋の茶会が4年振りに同時開催されたこともあり、華やかな雰囲気の中、楽しそうに鑑賞・参加する方が多く見受けられた。芸能発表会は入場者数が前回より少なかったが、参加団体数が増えたこともあり、参加者・入場者ともに好評を得た。囲碁大会・鴻響楽2023は、前回より多くのかたに参加・入場いただいた。

成 果

新型コロナウイルス感染症拡大防止による開催中止を経て、4年振りのフル開催となったものの、出展数、参加団体数、入場者数の減少傾向が続いている。アンケート調査では、内容の希薄化や縮小化を懸念する声があげられている。募集や開催に関する告知方法の改善はもとより、開催方法自体の大幅な見直しが必要と考えている。

主 催

鴻巣市 鴻巣市教育委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第62回朝霞市文化祭

朝霞市 朝霞市中央公民館・コミュニティセンター、ゆめぱれす（朝霞市民会館）
10月28日(土)～11月26日(日) 10:00～16:00

当日の状況

朝霞市文化協会との共催で、「第62回朝霞市文化祭」を開催した。

「展示部門」では、10種目・329点（うち公募出展：71点）の作品が展示され、多くの来場者に芸術鑑賞を楽しんでいただいた。さらに、地域のつながりから文化の振興を図る目的で、写真部門では、県立朝霞高等学校及び朝霞西高等学校の写真部と文化協会写真連盟との共同による作品展示を行った。また、文化祭特別事業として、東洋大学管弦楽団によるオープニングイベントや、朝霞市手工芸連盟による芸術文化体験事業、スタンプラリーによる抽選会を実施して、菓子や野菜を配布し、皆様に大変喜んでいただいた。

「芸能のつどい」では、47組320人が出演し、伝統芸能から各種ダンスやクラシックバレエまで、様々なジャンルの演目が披露された。なお、式典では、長年にわたり本市の芸術文化活動の発展に貢献いただいた皆様に対して、文化功労顕彰者として表彰（文化協会長賞9人）を行った。

文化祭開催期間には、10団体の個別大会・発表会が開催され、各団体とも日頃の練習の成果を存分に発揮するべく、より一層熱心に取り組んでいた。

成 果

文化祭の開催によって、一般市民に対し、日頃の文化芸術活動の成果を発表する場を提供するとともに、身边に芸術を鑑賞できる機会を提供することができた。ただ、出店が少ない、若い人が少ない等の御意見をいただいた部分もあるので、より多くの来場者に満足していただける事業となるよう、次年度以降改善していきたい。

主 催

朝霞市 朝霞市教育委員会
朝霞市文化協会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第45回滑川町文化祭

滑川町 滑川町コミュニティセンター

11月1日(水)～3日(金) 9:00～16:00 (最終日は15:30まで)

当日の状況

第45回を迎えた滑川町文化祭は、文化芸術の振興と資質の向上を図る事を目的に開催された。

今年度は、サークル団体及び町内福祉施設の作品の他、一般の方への募集を行った。油絵、書道、水墨画、俳句、川柳、版画、陶芸、絵手紙、手芸、工芸作品等の力作が展示された。

最終日である3日(金)には、茶道サークルによる野点を開催し、多くの参加者が楽しむことができた。

開催期間中は、各団体から選出された実行委員が、作品の管理や会場整理を担当して円滑な事業運営となった。

成 果

各分野から320点の作品が出展された。日々の活動の成果を広く知ってもらえる場であり、今年度は一般参加の町民からも作品が出品され、交流の場となつた。来場者から作品の素晴らしさに感動や喜び、継続を望む声が寄せられた。

出展者にとっても、お互いに刺激を受け、励みとなり、今後の活動へと繋がる良い機会となっている。



主 催

滑川町 滑川町教育委員会

埼玉県芸術文化祭滑川町実行委員会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第60回富士見市民文化祭

富士見市 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
11月3日(金・祝)～19日(日)

当日の状況

様々な展示や発表等が、約2週間にわたって開催された。感染症対策の制限が解除されてから初めての開催となり、コロナ禍前の元年を上回る延べ6,083人が来場し、市民が様々な文化芸術に触れる機会となった。

- ・展示発表(11月3日(金・祝)～11月5日(日))
内容：華道、書道、将棋コーナー等の展示
- ・芸能発表(11月3日(金・祝))
内容：日舞、新舞、民舞等の発表
- ・第60回記念式典(11月4日(土))
- ・民謡大会(11月5日(日))
内容：日本民謡(唄・三味線・尺八等)
- ・市民美術展(11月8日(水)～12日(日))
内容：絵画、彫塑(ちょうそ)、写真等
- ・市民音楽祭(11月12日(日))
内容：コーラス、吹奏楽、器楽演奏等の発表
- ・将棋大会(11月19日(日))



成 果

富士見市民文化祭は、例年開催される市最大の文化イベント。今年度は60回目を迎えた。多様な文化にふれる機会と日々の練習の成果を発表する機会で、来場者からは「市民の発表の場として気軽に参加できて良い」という声が寄せられた。



主 催

富士見市民文化祭実行委員会
公益財団法人キラリ財団
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第28回吉川市民文化祭

吉川市 吉川市中央公民館 他
11月4日(土)～5日(日)

当日の状況

3年ぶりの開催となった昨年度と比べ、参加者・来場者数ともに増加となり、にぎわいの様子が見られた。また、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり飲食の制限があったが、今年度は制限なく、会場入口には飲食の模擬店及び飲食スペースが設けられ、来場者等が文化芸術の観覧に加え飲食及び会話を楽しむ様子も見られた。



成 果

今年度の参加者数は600人であり、昨年度と比べて100人以上の増となった。また、入場者数については約2,100人となり、昨年度と比べて500人以上の増となった。コロナ禍で縮小された文化芸術活動の回復に繋がったものと考える。



主 催

吉川市 吉川市教育委員会
吉川市民文化祭実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



「音楽の街・久喜市」吹奏楽フェスティバル

久喜市 久喜総合文化会館大ホール
11月12日(日) 10:20~15:45

当日の状況

入場制限等を実施せず、令和元年度以来4年振りに多くの来場者をホールに迎えての開催となった。

中学校・高等学校ともに堂々としたレベルの高い演奏を披露した。鷺宮東中学校は小学生との合同演奏も行うなど、各出演団体の演出にも工夫が見られ、会場は大いに盛り上がりを見せた。

一方、令和4年度に引き続いてインターネットライブ配信を行ったが、終日にわたって音声トラブルに見舞われた。



成 果

出演者には、発表の機会及び日頃の活動に対する目標を提供することができ、モチベーション及び演奏技術の向上、吹奏楽文化の醸成に貢献することができた。

また、来場者には、質の高い、優れた吹奏楽鑑賞の機会を提供することができた。来場者アンケートでは、「楽しい時間を過ごすことができた」「皆さんの演奏に元気をもらえた」といった感想や、「自分が行く中学校が出ていてうれしかった」といった小学生の感想も見受けられた。

一方で、インターネットライブ配信については、課題を残した。



主 催

久喜市 久喜市教育委員会
埼玉県芸術文化祭久喜市実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第33回日高市美術展

日高市教育委員会 日高市文化体育館「ひだかアリーナ」サブアリーナ
11月15日(水)～19日(日) 10:00～17:00 (最終日は15:00まで)

当日の状況

11月15日から19日まで5日間にわたり開催した。絵画、書、彫塑工芸、写真の各部門に一般応募作品が69点、委嘱作品が66点、計135点の力作が展示された。また、美術展開催記念として小中学生の絵画と書を展示し、多くの方が鑑賞に来場した。

成 果

前回より出品数が減少したものの、賑やかな美術展となった。来場者からは「大変良い企画です。ずっと続けて下さい、癒されました。」「様々なジャンルの作品と一緒に見られるところが良い。」「素晴らしい作品ばかりで、心豊かになりました。」などの感想が寄せられ大変好評であった。

最終日には市長賞、市議会議長賞、教育長賞、審査員特別賞など19名の表彰式を行った。新たな出品者もあり、日頃の成果を発表する日高市美術展を開催することで、日高市の芸術文化の発展にとても有意義なものとなつた。

主 催

日高市教育委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第75回行田市文化祭

行田市 行田市産業文化会館 他

11月16日(木)～19日(日) 9：00～16：00 (最終日は15：00まで)

当日の状況

第75回行田市文化祭では、行田市文化団体連合会に加盟している団体のうち展示部門に11団体、大会・発表部門に4団体が参加し、11月16日から11月19日の4日間を中心に行田市産業文化会館他で開催され、3,287名の来場をいたしました。昨年までの新型コロナウイルス感染予防対策として様々な制限が緩和され、芸術性豊かな作品の展示と舞台発表により、来場者の方々を楽しませていました。

成 果

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策が緩和されるのを見極めながらの実施となり難しい判断もあったが、出展・出演に携わる実行委員の意見を参考にしながら、従前の団体数の参加を得て無事開催することができた。アンケートでは、「すごい感動しました。毎年感心しています。」「それぞれの感性がでていて素晴らしかった。」「このようなチャンスをありがとうございました。行田市の文化を高めると思います。」「着物の着こなし、振る舞い、動作等の演舞に、伝統芸術を強く感じました。」など多くの賞賛の声をいたしました。一方、「展示会場の一部の照明が暗い。」などの意見をいたしましたので、次回以降の課題にしたい。



主 催

行田市 行田市教育委員会

行田市文化団体連合会

公益財団法人行田市産業・文化・スポーツ
いきいき財団

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第51回小鹿野町歌舞伎・郷土芸能祭

小鹿野町 小鹿野文化センター及びその周辺
11月18日(土)・19日(日) 10:00~16:00

当日の状況

小鹿野文化センター敷地内にて第51回「小鹿野町歌舞伎・郷土芸能祭」が2日間にわたり盛大に開催された。小鹿野歌舞伎保存会結成50周年記念企画ということで、小鹿野町を舞台とした新作歌舞伎【日尾獄山誉寒梅】を13年ぶりに上演した。子供からベテランまで幅広い世代の協力により、伝統芸能（歌舞伎・太鼓・神楽・民踊等）を発表することができ、町内外から多くの来場者があった。また、堂々とした演技・演奏に惜しみのない拍手が送られ好評であり、出演者自身も披露することができてとてもよかったとの声が多数あった。



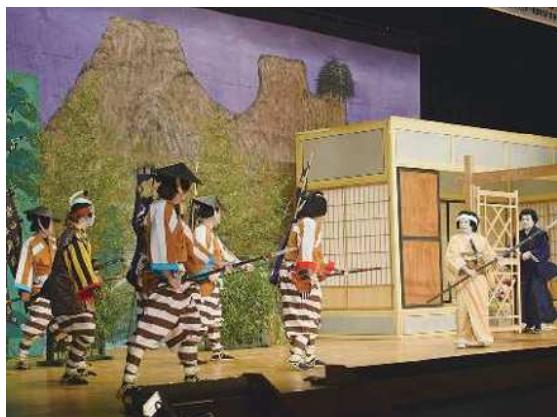
成 果

ここ数年、コロナ禍の影響を受け停滞していた町内歌舞伎団体等について、徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつある各団体に、さらに弾みをつける発表の場として開催することができた。来場者も町内外より多数あり、「花と歌舞伎と名水のまち・おがの」をより一層全国的にアピールし、町全体を活気づける良い機会となった。「歌舞伎のデパート」と呼ばれている本町において、役者はもちろん、下座・着付け・化粧など裏方を含め、伝統芸能の継承・振興活動を行う上で、非常に意義のある行事となり、大きな支援となつた。



主 催

小鹿野町 小鹿野町教育委員会
埼玉県芸術文化祭小鹿野町実行委員会
小鹿野文化団体連合会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第28回美里町遺跡の森ピアノコンクール

美里町 美里町遺跡の森館ホール

11月18日(土)・19日(日)・23日(木・祝) 10:30~16:00

当日の状況

ピアノコンクールは3日間にわたって開催された。出場者は、S部門（幼児の部）からE部門（高校生の部）の6部門に分かれ、県北部を中心に合計102名の青少年が出場した。

会場には、出場者の保護者や家族、地域の教室関係者が観聴に訪れていた。演奏は、緊張感が漂う中で部門別に行われた。部門が上がるにつれて、ピアノの演奏技術や表現力が素晴らしいと評価され、出場者は日頃の練習の成果を思う存分に発揮していた。連日、会場内には、元気いっぱい若さにあふれたピアノの音色が響き渡っていた。



成 果

アンケートを実施した結果、9割以上のかたから再度参加したい、当イベントを周りの友人知人へ参加を進めたいとの意見があった。

次世代を担う音楽家の卵たちが日頃の練習の成果を披露し、プロピアニストの審査委員に講評してもらうことで、子どもたちの今後の練習の指標となり、地域の音楽文化の向上に資することができた。

また、互いの演奏を聴くことで同世代の実力を確認し合い、参加者相互の交流を深める場となった地域文化事業であった。



主 催

美里町 美里町教育委員会

美里町遺跡の森ピアノコンクール実行委員会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第16回地域伝統芸能今昔物語

熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール
11月23日(木・祝) 12:00~16:30

当日の状況

市指定無形民俗文化財保存団体の7団体・一般芸能7団体、賛助出演1団体（熊谷祇園囃子）、計15団体による共演を779人の来場者が鑑賞した。伝統芸能を次世代に継承することを目的に、児童生徒を中心とした多くの若手の出演があった。収録された映像は記録保存とともに、動画共有サイト「YouTube」での公開配信を進めている。



成 果

市内各地区に保存・継承されている無形民俗文化財と芸能団体の発表の場を提供することにより、各地区の歴史や文化に対する理解を深めることができた。また、郷土の伝統文化を次世代へ継承する意義を多くの児童生徒・若手に対して啓発することで、無形の文化遺産の更なる保護や情報発信を行うことができた。



主 催

熊谷市 熊谷市教育委員会
埼玉県芸術文化祭熊谷市実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第54回越谷市民文化祭

越谷市 越谷コミュニティセンター

11月23日(木・祝)～26日(日) 10:00～19:00 (最終日は18:00まで)

当日の状況

「越谷市民文化祭」は、越谷コミュニティセンターを会場とし、11月下旬の4日間にわたり開催された。

出演部門では1,500名を超える参加者が、大・小ホールにおいて、合唱・独唱や和太鼓、グランドハープ、マジック、古武道等の見応えあるステージ発表を行い、会議室では落語の発表や囲碁の対戦も行われた。

出演部門では展示ホールや大ホールホワイエ、小ホールギャラリー等で、260点を超える絵画、書、華道等の多種多様な作品が展示された。



成 果

今年は4日間の会期のうち、3日間が祝日・休日と日にちに恵まれ、また感染症対策が撤廃されたこともあり、市内外から5,220人にも来場いただいた。

アンケートでは、「とても良かった」「良かった」との意見が8割以上を占めており、「高校生の若者が頑張って演じている舞台作品に元気をもらいました」といった回答など、市民文化祭の開催そのものが、芸術文化が目的としている心豊かな国民生活及び活力ある会の実現に寄与していることが伺えた。



主 催

越谷市 越谷市教育委員会

第54回越谷市民文化祭実行委員会

越谷市文化連盟

公益財団法人越谷市施設管理公社

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第20回竹間沢車人形公演

三芳町 コピスみよし（三芳町文化会館）
12月3日(日) 13:30~16:00

当日の状況

復活公演50周年記念となる今回の「竹間沢車人形公演」は、一階席をほとんど埋めて2階席まで到達するほど大盛況だった。会場のロビーでは、垂れ幕の装飾のほか前回公演や稽古の様子を撮影した写真と車人形を展示した。また、復活公演50周年を記念してスロープにてコピスみよしで行われた第1回から今回の第20回公演までのポスターや、車人形発見当時の新聞記事などを展示し、来場者の関心を集めた。公演は舞台を清める意味を持つ「寿式三番叟」に始まり、次に江戸時代中期頃に起きた「元禄赤穂事件」を題材とした「仮名手本忠臣蔵」を竹本越孝の義太夫と鶴澤駒治の三味線にのせて上演した。殿内刃傷の段のクライマックスで塩谷判官が高師直に切りかかる迫力あるシーンに観客は圧倒されていた。次の「車人形教室」では、車人形の構造や操り方の解説を行った。客席から3名の立候補者を舞台に迎え、様々な感情の表現に挑戦していただいた。休憩後は安倍晴明伝説を題材に、親子の情愛をテーマとした「蘆屋道満大内鑑」を上演。三代目若松若太夫氏の語る説経節とともに細やかな動きや表情に情念を込めた人形芝居に万雷の拍手が贈られた。

成 果

来場者は352人。公共施設に設置したチラシのほか、町の広報、ウェブサイト、新聞広告、SNSなど、様々な周知によりコロナ以前より集客があった。幅広い世代に周知できるように竹間沢車人形のLINEスタンプ作成や、町の広報で特集を組んだり、当日はロビーにて展示を行った。来場者アンケートでは、初めての方や町民以外のお客様も多数見られ、「満足」「やや満足」が9割を超え、次の公演を待ち望む声が多く寄せられた。三芳町に継承される伝統芸能の継承に大きな影響をもたらした。

主 催

三芳町 三芳町教育委員会
埼玉県芸術文化祭三芳町実行委員会
コピスみよし（三芳町文化会館）
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会

